

【熊本県大津町】ネットワーク整備計画

初 版 令和7年3月24日

第2版 令和8年3月27日

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

帯域測定の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は以下の通りである。

- ・総学校数：9校（小学校7校、中学校2校）
- ・確保できている学校数：2校（小学校2校、中学校0校）
- ・総学校数に占める割合：22.2％

ユーザー体感調査の結果では、児童生徒や教員から回線速度に関する不満や意見は寄せられていない。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

次のスケジュールで、ネットワークアセスメントを実施した。

令和7年 6月：ネットワークアセスメント開始

令和7年10月：データ収集完了

令和7年11月：課題特定の報告

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

アセスメントの結果、児童生徒や教職員のネットワーク使用環境に支障は見られないが、学校ごとの推奨帯域を満たしていないことや大容量通信の増加が予想されることから、安定した運用環境を確保するための課題として帯域不足の解消が挙げられる。令和9年3月までに対象校における課題解決を目指す。

令和7年度：ネットワークアセスメント実施による課題特定、課題解決策の検討、
課題解決のための予算確保

令和8年度：特定した課題の解決

※文部科学省は「教育DXに係る当面のKPI」の一つとして、「必要なネットワーク速度確保済みの学校：100%（R7）」との目標を掲げているが、R7年度にネットワークアセスメントで課題を特定、課題解決策の検討を十分行ったため、令和8年度中に課題解決を目指す。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決方法と実施スケジュール

【課題と解決方法】

- ・現状のネットワーク帯域は、文部科学省の指標である「学校規模ごとの当面の推奨帯域」

に対して不足している学校があるため、インターネット回線を現在の1 Gbps ベストエフォート回線から 10Gbps ベストエフォートに変更することにより、広帯域化を図る。

- 現状のネットワーク構成では、各学校のL3スイッチがスイッチング機能と併せてDHCP機能を兼務している。R7年度の熊本県学力調査にて端末一斉起動時に、IPアドレスの払い出し処理が集中し、一部ネットワーク遅延が発生したためDHCP専用機器を導入し改善を図る。

【実施スケジュール】

令和8年度：広帯域の回線サービスへの変更

DHCPサーバの導入